

14期”関西ぶらり散策“科

6月24日(水)



牽牛子塚古墳と高松塚古墳を歩く

1班 担当

日本の古代国家誕生の歩みを示す宮殿跡や寺院跡、墳墓で構成される遺跡群「飛鳥・藤原の宮都」がユネスコの世界文化遺産に7月に登録される見通しとなりましたが、その中の墳墓群から牽牛子塚古墳と高松塚古墳を散策しました。

「飛鳥・藤原」は飛鳥時代に日本で初めて中央集権体制が成立した過程を示す遺跡群で、19件の資産で構成。それは宮殿・官衙(かんが)跡、仏教寺院跡、前方後円墳から新しい墓制に移行した事を表す墳墓の三つに分類されますが墳墓の中で、牽牛子塚古墳・高松塚古墳の二つの古墳を散策しました。

宮殿・官衙跡	仏教寺院跡	墳墓
● 飛鳥宮跡	● 飛鳥寺跡	● 石舞台古墳
● 飛鳥京跡苑池	● 橘寺跡	■ 菖蒲池古墳
● 飛鳥水落遺跡	▶ 山田寺跡	● 牽牛子塚古墳
● 酒船石遺跡	● 川原寺跡	● 天武・持統天皇陵古墳
■ 藤原宮跡	● 檜隈寺跡	● 中尾山古墳
	● 大官大寺跡	● キトラ古墳
	■ 本薬師寺跡	● 高松塚古墳

●...明日香村 ■...橿原市 ▶...桜井市

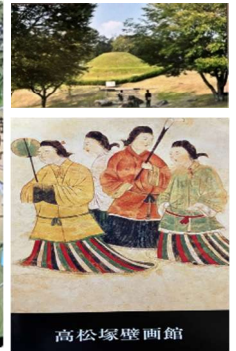
【行程】

10:00 飛鳥駅スタート

- ・牽牛子塚古墳散策
- ・高松塚古墳散策

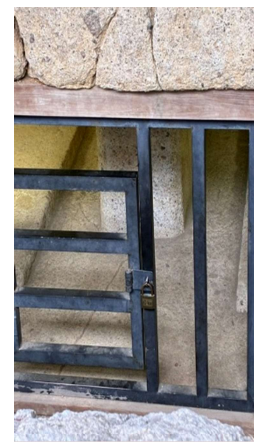
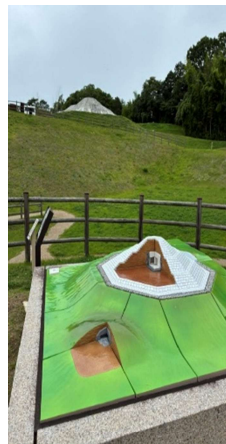
12:10 解散後 班ごと自由散策

1班のみ飛鳥駅から八木西口駅に移動し今井町を散策しました。



■牽牛子塚古墳へ ～ 石室が語る飛鳥の時間

飛鳥駅から10分程歩いて田園風景を抜けると、ぽつんと丘の上に現れるのが牽牛子塚古墳。八角形の珍しい形をした古墳で、近年の調査で齊明天皇と間人皇女の合葬墓と考えられている。古墳の周りには説明板が整備されているので当時の構造や発掘の様子がわかりやすく紹介されている。日曜日には古墳の中を専属のガイドさんが案内してくれるとの事だが今回は外からの見学となった。



牽牛子塚古墳案内板 模型から見上げた古墳 牽牛子塚古墳を外から見た形 発掘の説明板 棺が収納されていた石室

■高松塚古墳へ ～ 壁画の世界を想像しながら歩く

牽牛子塚古墳から歩いて10分ほど。 次の目的地の**高松塚古墳**に到着。

こちらは1972年に発見された**極彩色壁画**が有名。「飛鳥美人」と呼ばれる女子群像の壁画は、日本史の教科書の象徴的な存在だ。



案内板



高松塚古墳



高松塚古墳



高松塚壁画館



極彩色壁画の再現



「飛鳥美人」と呼ばれる女子群像



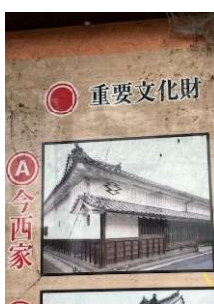
埋葬品の展示物

梅雨空で小雨でしたが、距離が長かったにもかかわらず、皆様元気に散策されました。
飛鳥観光協会「飛鳥びとの館」のガイド様方の説明もわかりやすかったです。ご案内有難うございました。

■今井町 ～ 信長の世界を想像しながら1班は午後自由散策しました

一向宗の布教拠点として誕生。都市計画のもと、寺内町として発展

天文年間(1532～55)本願寺の今井兵部によって建てられた称念寺が今井町の起りと言われています。農民などを門徒化しここを拠点に一向宗の布教を進めるためでした。後には、諸国の浪人や商人が集められ、町場を形成しました。このような町を寺内町と言います。戦国時代に野武士、盗賊、他宗派、大名などからの攻撃を避ける為に、周辺に濠と土居を巡らせ、僧侶や門徒を守る武力が備えられました。見通しのきかない筋違いの道路や、九つの門跡がそれを物語っています。1班は今井町に在る重要文化財の今西家を訪問しました。



織田信長から送られた国宝の刀のレプリカが今西家に置いて有る。

